

国会が機能不全 政界再編成が

福田内閣の支持率低下が止まらない。弱気な外交、年金問題や後期高齢者医療制度の混乱など、現在の日本の政治状況に国民の誰もが失望しているからだ。

さまざまな問題を抱える日本の舵取りを、ビジョンのない政治家に任せることはできない。今こそ実行力があり、度胸があり、腕力のある政治家が求められている。今こそ国民に信を問え！

聞き手—本誌主幹 田崎喜朗

8人の侍、国民新党

田崎 多くの国民が日本の政治に對して失望しています。福田総理には日本をどうしていくのかというビジョンが見られず、内閣総理大臣がいてもいなくてもいいような、総理不在の内閣のように感じられるからというのも支持率低下の理由の一つではないでしょうか。

この難しい時期に一国を取りまとめていくためには、実行力と同時に忍耐力も度胸もあり、さらには強引なまでの腕力のある政治家が必要ではないかと思えます。ところが最近の政治家は小粒になり、腕力がありません。亀井先生のような豪腕の政治家が今また求められているのではないのでしょうか。

亀井 このようなことを言っているのではないのかもしれませんが、今の日本は国民のほとんどがアホになっ
てしまいましたね。その国民から選ばれる国会議員も国民のご機嫌取りのような政治ばかりするから、小粒な政治家しか育たないわけです。
このような政治ばかりしているから、中国からは蔑まれ、アメリカから

らは馬鹿にされ、北朝鮮にもなめられてしまう。どう見ても、日本が独立国家としての扱いを受けているようには見えません。戦後からこれまでの間には、日本が必ずしも世界の中で尊敬され評価されていない時期もありましたが、今ほどひどい時期はなかったと思います。

田崎 どうにかして今の状況は変えていかなければいけません。そのためには国民新党にかかる期待も大きくなってきています。

亀井 今の日本は僕に足がかかっている状態だと思いますので、わが国民新党はとにかく次の総選挙に全力を尽くします。そのときに自公政権が衆議院で3分の2の議席を維持することは、どう考えてもあり得ません。参議院は相変わらず過半数に満たない状況で、衆議院も良くて過半数ギリギリという状況に必ずなるわけですから、日本の政治の座標軸を変えるチャンスが来ます。

自民党の一部とわれわれ国民新党や民主党がスクラムを組んで、新しい政治を始めるチャンスが来たとき

となっている！ 早急に必要！



国民新党代表代行 衆議院議員 亀井静香

に、国民新党は小さな党ですが、必ずその座標軸の結節点になれると思っています。理念や政策のない党が合従連衡の軸になると鳥合の衆になってしまうが、われわれ国民新党が軸となり、日本民族の魂を再び奮い起こして、国家、国民のための政策を行います。

参議院選挙では国民新党の議席は現状維持で伸びませんでした。政策面では躍進していて、かつて小泉さん以上の市場原理主義だった民主党も、自民党までもが格差是正や地方を大事にしようという国民新党の政策に寄ってききました。今度の総選挙でも同じように国民新党の政策に沿う状況ではないと選挙に勝てないでしょう。その後に、きちんとした政策を軸にして政界再編です。

かつて私は自社さ政権をつくりましたが、それに非常に似た状況です。われわれ国民新党が綿貫党首を中心に死に物狂いでそれを成し遂げなければいけません。決して希望的観測を言っているわけではありません。

田崎 ぜひがんばっていただきましたと思います。各界で応援してられる方もいらつしやるでしょう。

亀井 先日、読売新聞の渡辺恒雄

さんから激励の電話をいただきました。かつて三木武吉、鳩山一郎、中野正剛らの8人の侍がいて、彼らが戦後の保守政治を構築した。国民新党もちょうど8人いるのだから、その役割を果たさないといけないということでした。

われわれ国民新党の議席は自民党とは反対側の議場の隅っこにあるのですが、偶然にも私が座っている席に中野正剛さんが座っていたそうです。小泉さんの郵政選挙と同じように翼賛選挙で生き残った彼らが現在の国民新党が座っているところに座って、東条内閣に対して徹底的に対

抗したわけです。中野正剛は官憲に捕まって腹を切りましたが、三木武吉は小豆島に隠れて、鳩山一郎は軽井沢に隠れて、戦後まで生き延びて大仕事をやり遂げました。あの当時もそうした間違った圧政に抵抗した誇り高き先輩がいたのです。

われわれも今、そういう気合を持って、絶対にやり遂げたいと思っています。マスコミはなかなかわれわれのような小さい政党については評価して国民の方々にわれわれの理念を伝えるようなことをしてくれませんか、非常に不利な面もあるので、がんばります。

政界再編のキーマンは誰だ

田崎 洞爺湖サミットが7月にあります。福田総理はサミットには総理として出席したいと思っているでしょうが、サミットが終わる頃には支持率もさらに下がっているでしょうし、解散もしくは総辞職せざるを得なくなると思います。サミット後すぐに総理が代わるということになれば、これは諸外国の首脳に対して非常に失敬千万なことではないでしょうか。事前に辞めて、しかるべき

方が総理として出席されるのが礼儀ではないかと思えます。

亀井 サミットは世界に対して発信するいい機会です。特に環境が大きな問題になっていますが、よその国がCO₂を減らすならば日本も減らしますというようなことを言っているうちはダメですね。国民の生活レベルを少し下げることになったとしても、この地球を環境破壊から守るために、アメリカや中国が何もし

なくても日本が手を打つというくらいのこととせんと、議長国として世界に対して説得力のある発言はできないと思います。極端かもしれませんが、今のままでは何のためにサミットを開催したのかわからなくなってしまう。

そして残念ながら今の自民党には福田さんの後に総理になる人材が誰もいません。福田さんに代わって国家の危機を救っていくためには、われわれ野党に対して思い切った手を打って、挙国一致の体制を取る必要があると思いますが、そのようなことができそうなのは見当たらないですね。サミット後もずるずると福田政権が続く可能性もあるのではないのでしょうか。

田崎 自民党の森元総理も同様の意見でした。しかし、森さんは安倍内閣を自ら中心になって作り、引き続き福田内閣も森さんの協力がなければできなかったわけですから、現在の政治の混乱について森さんは当然、責任を自覚していると思います。

亀井 以前に小沢さんが自民党と大連立をしようとして頓挫してしまいましたけれど、今のように衆参がねじれている状況では、党派を超えた体制を作るしかありません。国民の

見ているところで外交も経済政策も含めて話し合って、政策中心にまとまっていくということ。森さんには自民党をまとめてほしいところなのですが、民主党と自民党だけの野合ではなくてあらゆる党に呼びかけて挙国一致の体制を作る仕掛けが起きてこないですね。

かつて自社さ政権を作ったときには、社会党に日米安保や日の丸、君が代も認めさせて、政策中心で作りました。ただ権力を握ればいいというのではなくて、政策中心にまとまったからうまくいったのです。小沢さんと福田さんの大連立が失敗したのは、国連決議があれば自衛隊を国外に派遣しても憲法違反にならないという、この一点だけで手を握ろうとしたからです。

経済政策や外交など、自民党も民主党も社民党も、われわれの国民新党だって、同じ日本人のですからそれほど大きな違いがあるはずはないわけです。自社さ政権を作ったときには、夜を徹して国家のために国民のために何をすべきか、過去を捨てて血の出るような議論をした中で生まれた政権だからうまくいきました。永田町だけを相手にするのはなく、虚心坦懐に国民に呼びかけて

いき、衆参で党派を超えて新しい政治の体制を作り上げていく必要があります。

田崎 なんとか政界再編を実行していただきたいと思いますが、そのためにはキーマンが必要です。民主党の中では菅直人さんがそうではないかと思えます。

亀井 やはり彼は市民運動出身の政治家だけに、しっかりと地に足のついた政治をしています。彼はわ

れわれと組んで、良い体制を作れると思います。

田崎 また、自民党の山崎拓さんのことも私は数少ない武士の一人であると思っています。

亀井 彼は今の永田町の政治家の中では実行力のある方ですし、求心力もありますね。

私も政界再編については水面下でいろいろ動いています。感触は非常にいいです。

選挙制度改革も同時にするべし

田崎 最後に選挙制度についてお伺いします。率直に言って、日本の政治風土に小選挙区制度はマッチしていません。その証拠に2世、3世

と世襲議員が増え続けていることが挙げられますし、これはやはり変えなければいけないと思います。

亀井 政治改革で無理矢理に変え

なくても日本が手を打つというくらいのこととせんと、議長国として世界に対して説得力のある発言はできないと思います。極端かもしれませんが、今のままでは何のためにサミットを開催したのかわからなくなってしまう。

そして残念ながら今の自民党には福田さんの後に総理になる人材が誰もいません。福田さんに代わって国家の危機を救っていくためには、われわれ野党に対して思い切った手を打って、挙国一致の体制を取る必要があると思いますが、そのようなことができそうなのは見当たらないですね。サミット後もずるずると福田政権が続く可能性もあるのではないのでしょうか。

